



何年経っても飽きのこない“本物志向”の空間に。

2023年1月、手狭になったオフィス
を拡張する形で、新築テナントビルの
2フロアに新たなスペースをオープン
させた藤尾歯科医院。

最寄りの鷺沼駅前では再開発の話も
あり、そちらへの移転も検討したが、
「長年通う患者さんのことを考え、拡
張することを選びました」と話すのは
理事長の岡本典之先生。

拡張した新スペースは自由診療を行
うことを想定したデザインにした。例
えば、各ユニットの天井部を折り上げ
天井にして開放感を出し、長時間座っ
ていても圧迫感がないように工夫して
いる。3種類の腰壁も特徴的だ。「診
療室は汚れが目立たない黒の磁器タ
イル、通路は明るく感じる白の磁器
タイル、待合室は落ち着きのある特注の木

製タイルを採用しました。建材は偽物
を使わず、飽きのこない“本物”にこ
だわっています」。

新スペースは評判がよく、実際には
自由診療ではない患者さんも利用して
いるのだとか。「私はそれでいいと思っ
ています。皆さんにくつろいで過ごして
いただけたら満足です」と岡本理事
長は笑顔で話す。

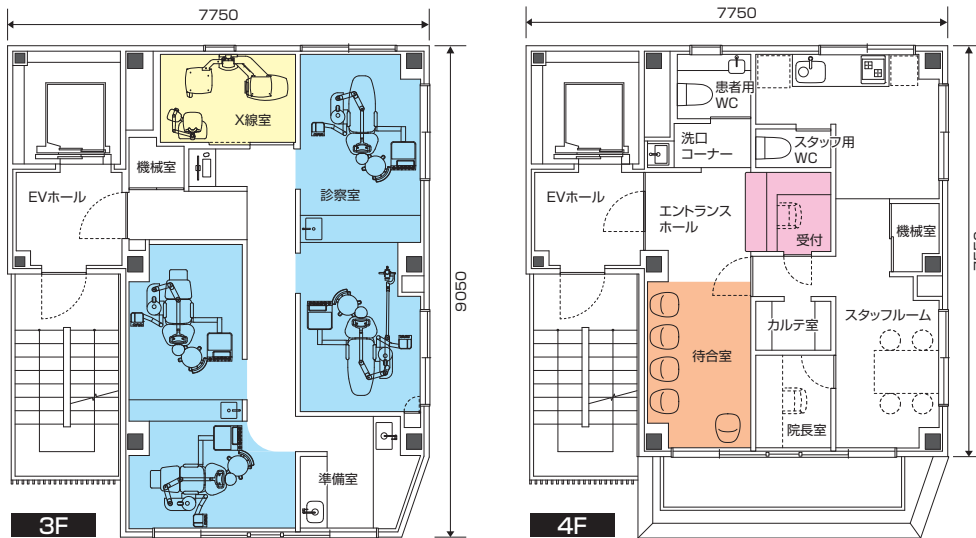
Style Concept

フランク・ロイド・ライトの照明、ドアノブやスイッチ類などの細かなインテリアの選択、白い塗り壁…、空間

を構成する要素の一つひとつに理事長のセンスが感じられる院内は、ホテルやカフェとも違う、エレガントで調和が取れた空間に仕上がっている。

「歯医者さんぽくない。かといって

トレンドに流されたデザインではない。まず第一に患者さんに寄り添い、安心して来院いただける歯科医院を目指しました」と新たな診療空間の印象を語っていただいた。



設計：ISHIKAWASAMBO一級建築士事務所

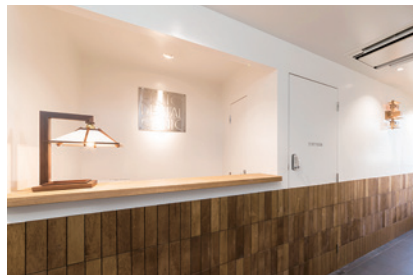
Google mapより
院内の様子を
ご覧いただけます。



- 受付
- 待合室
- 診療室
- X線室



新築テナントビルの2フロアに「藤尾歯科医院」の新たな拡張スペースがオープン。4Fには受付と待合室、スタッフルームなどを配置。



木製のカウンターとタイルが落ち着いた雰囲気演出する受付。



待合室はシンプルさを保ちながら、タイルや床材をダーク系にまとめ、くつろぎ感のある空間に。



3階の診療エリアには4つの診療室。患者用通路の腰壁のタイルの色は視覚効果によって広く、明るく感じられる白をチョイス。



モノトーンでまとめた診療エリア。隣接する診療室と診療室の間には共用のキャビネットを設置し、スペースを有効活用している。



洗面ボウル、ペーパーホルダー、ドアノブなど、ちょっとしたインテリアにもセンスが光る洗口コーナー。